

猪高の森自然観察だより 5月号

開催日時:2021年5月23日(日)

テーマ:新緑の中を歩こう

残念ですが、上記の観察会は「緊急事態宣言発出および新型コロナウイルス変異株感染予防のため中止とさせて頂きました。

しかしながら、そんな人の社会の営みとは別に、季節は移り変わっていきます。ここ猪高緑地でも、途切れることなく春の移り変わりは進んでゆきます。今月号はそんな移り変わりをトピックとして紹介します。

まずは動物編

十数年ぶり！？カルガモの親子 ー井堀の棚田エリアにてー

雛を連れたカルガモが上旬に確認されました。筆者も見に行きましたが残念ながら縁がなく、寂しい思いをしています。(まあ、自然との付き合いはこんなもの…。特に、鳥との付き合いは一期一会です。)

現在は見当たらないようですが、うわさによれば別のつがいに追われていたとか…。渡り鳥のオシドリは繁殖期にテリトリー(縄張り)をつくるのですが、留鳥のカルガモでもそれがあるのかどうか、知っている人がいたら教えてください。それならば親子はテリトリーに入り込んでしまったか、奪われたか、になりますね。

カラスなどの捕食者に見つからず、事故にも合わないよう、親鳥さん注意してくださいね。



20210513 棚田

巣立ちのことなど

棚田では、ツバメが変わらずに巣作りの材料を運んでいました。ツバメに限らず、スズメやエナガ、シジュウカラなど小型の鳥たちは、シーズン中に2～3回の産卵と子育てを行います。今は細かい時期は鳥ごとに違いますが、1回目の巣立ちが終わってしばらくたった頃かな。よく見ていると、何となく小さかったり、頭がボサボサだったり、いやに近くに寄ってくる不注意な鳥がいたりして、「あっ、こいつは今年生まれた幼鳥だな。」と思うことがあるはずですよ。よくご覧ください。

ウシガエルの蛙合戦 ーこもれび池にてー

メスをめぐってのオス同士の奪い合いの戦いです。傍から見ていると、まるで、水の中で相撲をしているよう…。ユーモラスにみえますが、本人達(?)は真剣そのもの、自分の子

孫を残せるかどうかの瀬戸際です。(でも、やっぱりユーモラス！しかしながら、ウシガエルは特定外来生物種です。)しばらくして、卵も確認されています。

他のカエルたちは？

ニホンアカガエルは、もう、おたまじゃくしから陸に上がる程に育っています。トノサマガエルの卵も見つかっています。棚田や池で卵など、もし見つけられましたら教えてください。

つぎは植物編

★是非ともお勧めしたい猪高緑地の風景Ⅱ題

そのⅠ まるで雪のよう、「柳絮(りゅうじょ)」の舞

柳絮(りゅうじょ)とは、柳の種についた白毛のこと。猪高緑地の春の大イベントの一つです。井堀の棚田～井堀下池近辺やハンノキ湿地で見られます。ときに、雪のように飛び積雪のように地に敷き積もります。幻想的な雰囲気をおなたも来年はぜひ…。

そのⅡ 落ち葉が奏でる「竹林幻想」

竹林は古い葉が落ちて、すぐに新しい葉が出てくるので、林床はいつも暗く幼木も育ちません。

この時期は竹の葉の交代の時期です。ベージュ色になった竹の葉が竹林の下に敷き詰められることとなります。いつもは薄暗い林床が明るいベージュ色に彩られます。竹のグリーンとベージュ色の対比はとても幻想的な雰囲気です。



竹林幻想

ハルジオンとヒメジオン

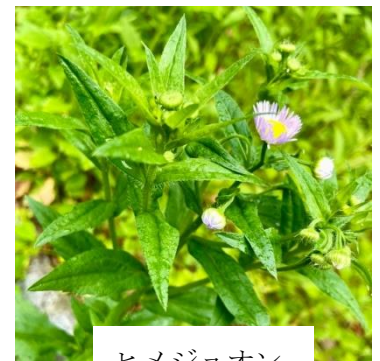
ともによく似たキク科の花です。実は、両種とも古い時代の外来種です。皆様のご幼少の頃からよくご覧になられている身近な花のはずです。この機会に素性を知ってしまいましょう。

●ハルジオン(春紫苑)

北アメリカ原産。園芸植物として輸入されたものが、大正時代に東京の小石川植物園より逃げ出して、全国に広がった。ヒメジオンよりも開花は早い。区別点は、茎が中空、つぼみが下向きに垂れる、葉の基部が茎を巻く、開花時には地際の葉は残る。

●ヒメジオン(姫女苑)

北アメリカ原産。江戸時代に鑑賞用として入れられたものが、全国に広がる。ハルジオンより若干開花は遅く、茎は中身が詰まり、つぼみはあまりうなだれず、葉の基部は茎を抱かない、開花時には地際の葉は枯れる。



ヒメジオン

などとよく紹介されていますが、開花時が重なることはあるし、つぼ

みが垂れるのは程度の違いでわかりにくいし、茎の中身は折らないとはっきりしないし、葉っぱの状態と茎に付いている状態を中心に判断したほうがよいように思います。

白い花・黄色い花

この時期に白と黄色の花が多いと感じるのは、私だけではないでしょうね。

●スイカズラ(別名:金銀花、忍冬)

花の奥に甘い蜜があるので、小さい頃に吸って遊んだ経験を持つ方も見えるでしょう。花は白から黄色に変わり、良い香りを特に夜に強く放ちます。つるになります。

●テイカカズラ

名は鎌倉時代の詩人・藤原定家の伝説に由来すると言われています。スクリュウ型
の白い花で、後に淡い黄色に変わります。この花も良い香りを放ちます。

秋には細長い20~30cm程のさや状の実をつけ、熟してはじけると、フワフワとした綿毛をもった種が飛び出します。春から秋まで観察するのに良い木です。これもまたつるになります。



スイカズラ

他にも、ガマズミ、カマツカ、ゴンズイ、センダン、エゴノキの花などが見られます。実は知っているけど花までは分からなかった方にお勧めです。

春のこの時期は盛り沢山の緑地です

モンシロチョウが舞い、ホトギスが鳴き、カタツムリが遊び、キイチゴの花が咲きます。
子どもの日に飾るショウブの花を見たことはありますか？ハナショウブとは別種です。
ダイサギが魚を取る様子は見ましたか？
蟻そっくりのアリゲモをみたことは？
セキレイの腰ふりダンスは？

毎回、何か新しい発見があります。一緒に歩きませんか？

次回は 6月27日(日) テーマ:水辺の生き物探しの予定です。

朝 9:30~ 森の集会所集合です。



蟻そっくり！アリゲモ